

小学校から高等学校まで

青森県

住まい・住まい方読本

～生活する力を身につけよう～



2019年3月

青森県

住まい・ 住まい方読本

～生活する力を身につけよう～

もくじ

はじめに..... 1

第1章	住まいや住まい方 (小学校編)	2
①	住まいのおもな働き	2
②	住まい方の工夫	
	(1) 暖かい住まい方	4
	(2) すずしい住まい方	8
③	住まい方のルールとマナー	10

第2章	住居の機能と安全な住まい方 (中学校編)	12
①	住まいの役割	12
②	家族の生活と住まいのかかわり	14
③	快適で安全な住まい	16
④	安全を考えた住まい方	18

第3章	住居と家族の生活 (高等学校編)	20
①	ライフステージに応じた住居の選択	20
②	安全で環境に配慮した住生活	22
③	家族の生活と住居の計画	23

第4章	私たちがつくる地域社会とのかかわり (高等学校編)	24
①	共生の視点から見いだす地域の住まいの課題	24
②	地域の課題と解決提案	25

ワークシート    に書きこみましょう！

はじめに

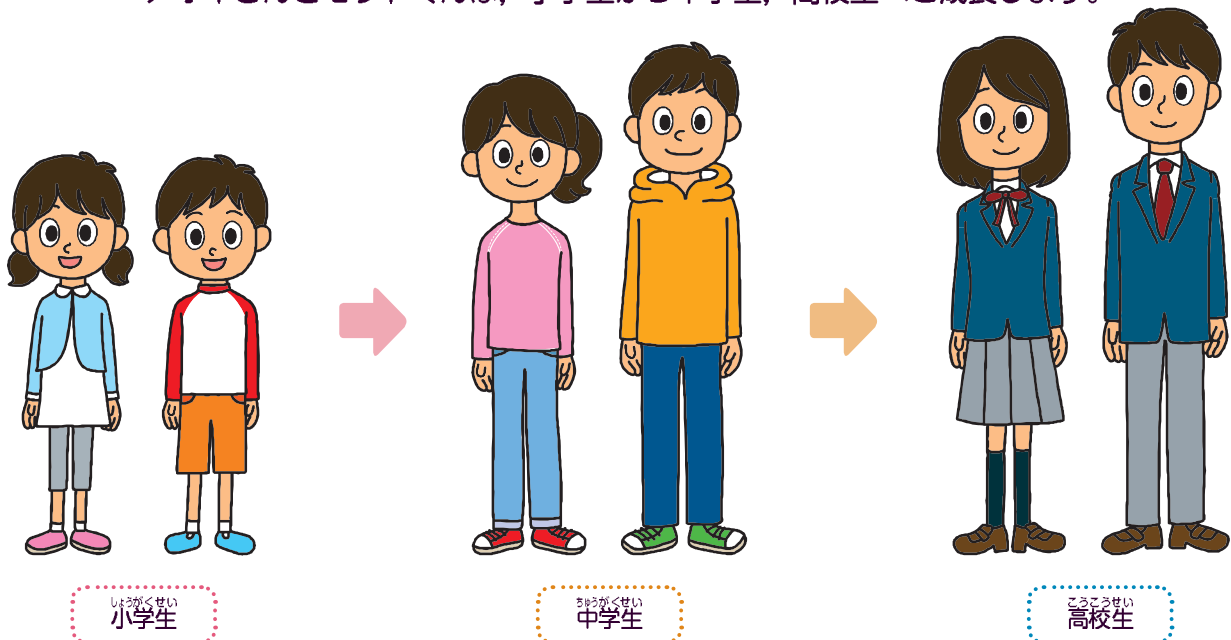
「住まい」の役割やより良い「住まい方」について考えたことはありますか。

将来にわたって、より安全に、より安心して暮らしていくためには、県民の一人ひとりが「住まい」や「住まい方」をよく知り、考えていくことが大切です。

この教材は、青森県の気候や風土、住まいの特徴を踏まえた「住生活」の学習内容について、小学校・中学校・高等学校を通して学んでいけるよう、知っていただきたいポイントを1冊にまとめたものです。

成長とともに、この教材を長く使って、住生活について広く、深く学習し、生活する力を身につけていきましょう。

アオイさんとモリトくんは、小学生から中学生、高校生へと成長します。



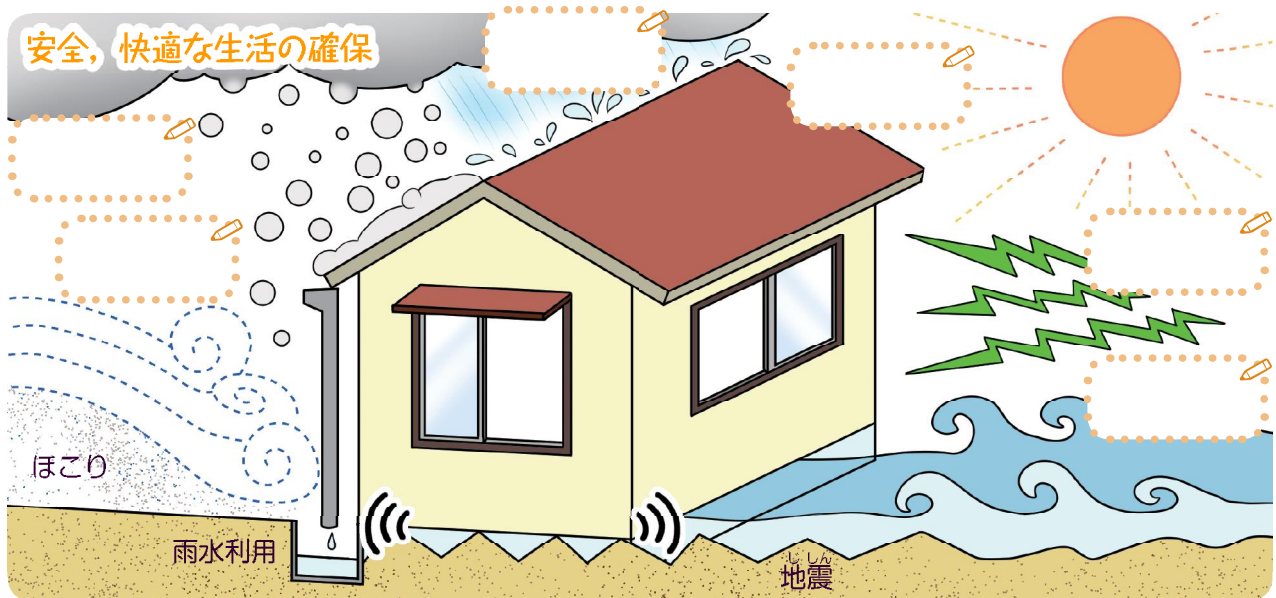
住居の機能と 安全な住まい方〔中学校編〕

1 住まいの役割

ねらい★住まいは自然から人々を守る生活の器としての機能のほか、心身の安らぎと健康を維持する働き、子どもが育つ**基盤**としての働きがあることを理解しよう。

自分の生活をふり返って住まいの役割を考えよう

小学校では、住まいのおもな働きについて学んできた。住まいには何から守る働きがあるか、書いてみよう。 → p.2「住まいや住まい方」も見てみよう！



育児や健康



豊かな
人間関係をはぐくむ場

心身の
安らぎの場



住まいには、
さまざまな働きが
あるんだね。



アオイさん

自分の住んでいる地域の気候と住宅の特徴を考えてみよう



それぞれ、屋根に特徴があるね。

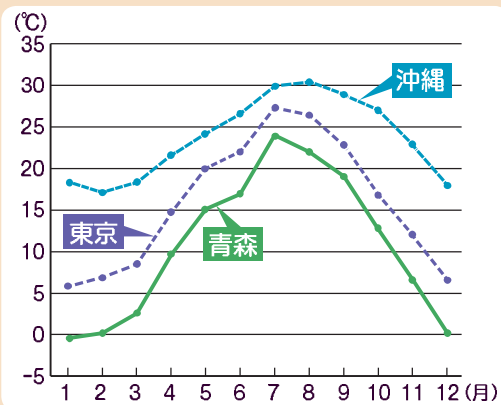


モリトくん



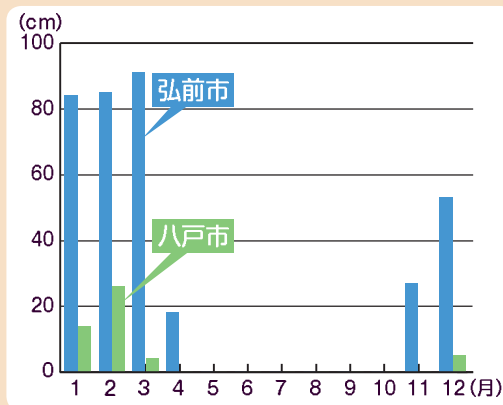
→ p.3 「ほかの地域の住宅（写真）」も見てみよう！

おきなわ なは
青森・東京・沖縄(那覇)の気温
月別平均気温(℃)



(2017年 気象庁)

弘前市と八戸市の積雪量
月別最深積雪(cm)



(2017年 気象庁)

上の写真や積雪量のグラフを見て…

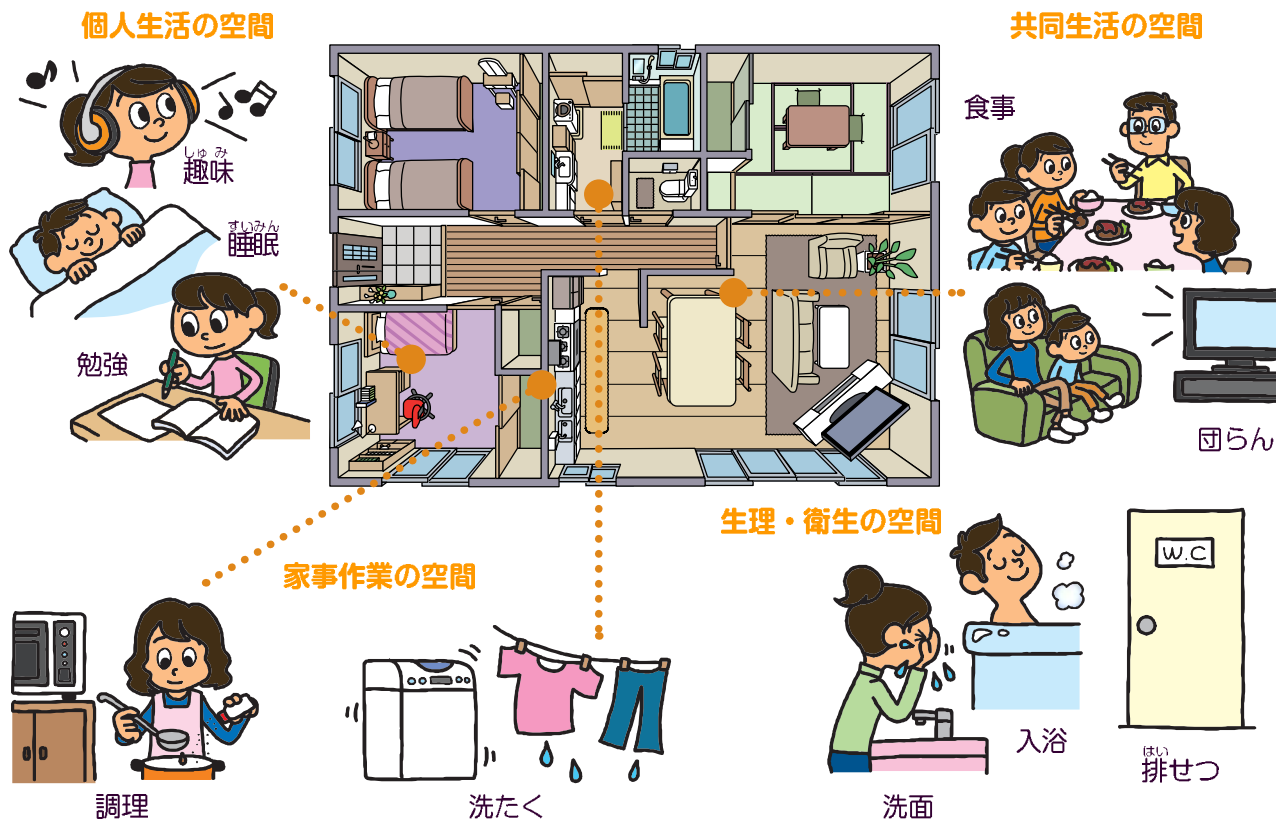
- 雪の量のちがい
- 断熱
- 日射利用
- その他
- 凍結防止
- 風除室
- 板べい



② 家族の生活と住まいのかかわり

ねらい★住まいの基本的な機能を理解し、家族が共に生活するための住まいの空間の使い方を考えてみよう。

よりよい住まいにするためにできること



家族が共に暮らすためのルールや工夫すべきことを書いてみよう

→ p.10 ③ 住まい方のルールとマナーも見よう！

どんな時 (場合)	ルールや工夫点・配慮すること

よりよい住まいにするために、自分でできることを考え、家族と相談して実行しよう。

住まいの空間の使い方を考えよう

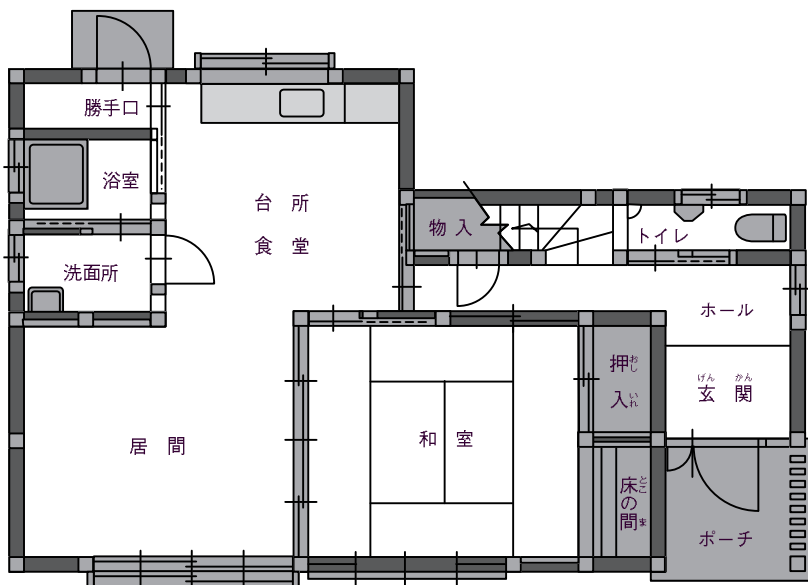
①将来の家族構成を考えてみよう。

20年後を想像
して書きこもう！

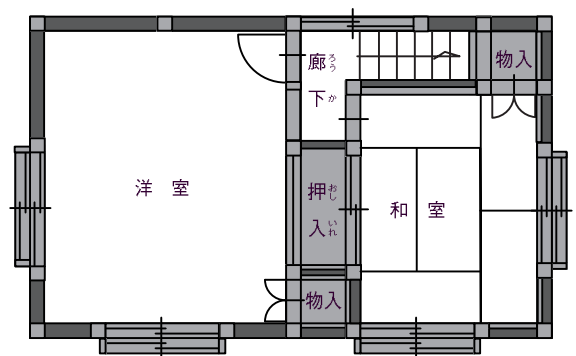


人物	年齢 <small>ねんれい</small>	特徴 (仕事や趣味) <small>とくちよう</small> (しゆみ)
例) おばあちゃん	80歳 <small>さい</small>	趣味: 茶道 腰痛あり <small>しゆみ</small> <small>ようつう</small>

②つぎの間取りを使い、家族の安全等にも配慮はいりよして住まい方を考えてみよう。



1階



2階

③各部屋の使い方やその理由・工夫点をまとめてみよう。

室名	使い方	理由・工夫点
例) 和室	茶室	おばあちゃんの趣味・玄関に近い <small>しゆみ</small> <small>げんかん</small>

3 快適で安全な住まい

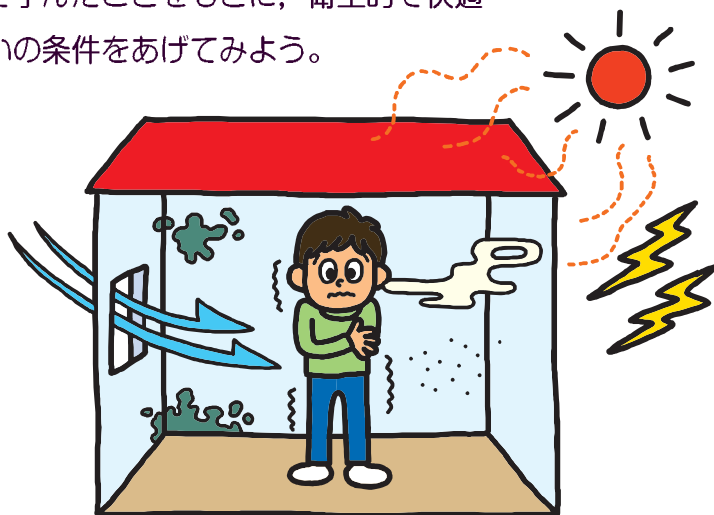
ねらい★家庭内の事故を防ぎ、安全で快適な住空間の整え方について理解しよう。

健康や快適さには、どんな要素が影響するのかな。



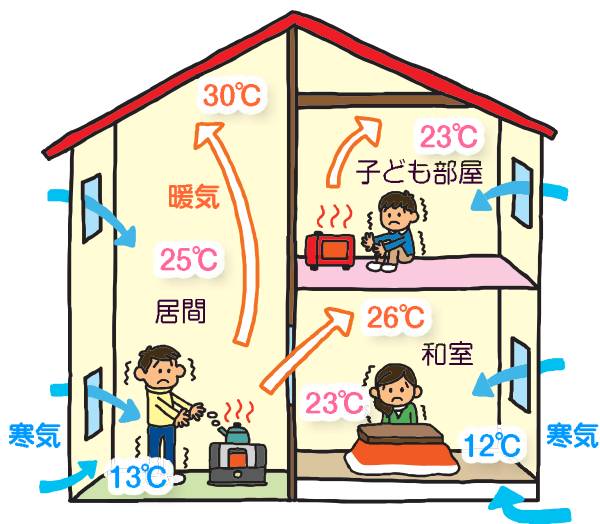
快適な住まいの条件について考えよう

小学校で学んだことをもとに、衛生的で快適な住まいの条件をあげてみよう。



空気の汚れ・

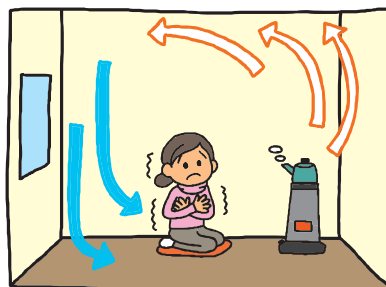
湿度



家にすき間があるとどのような影響が出るだろう。

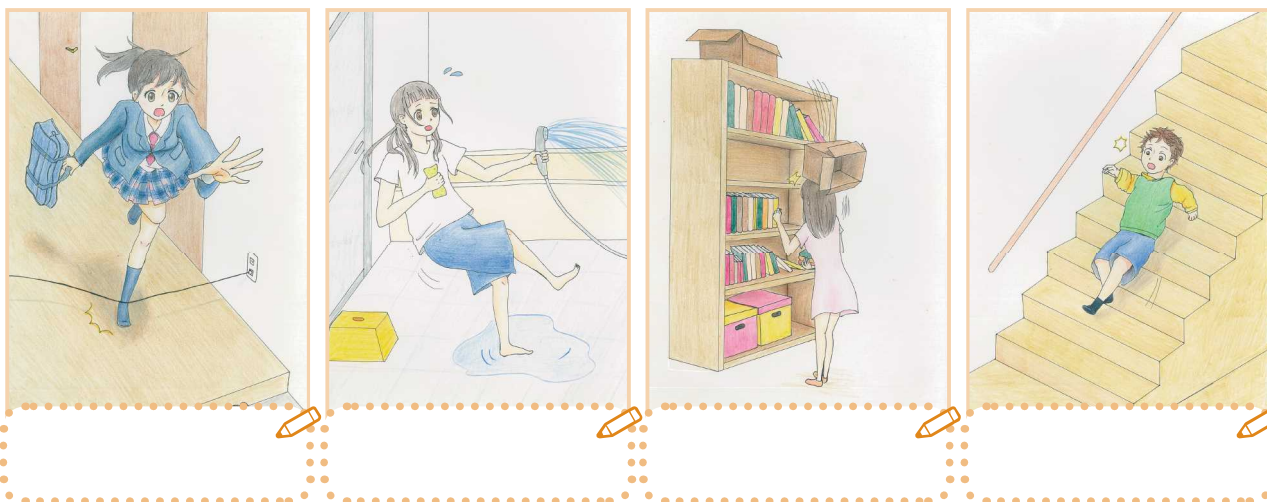
ダウンドラフト (窓の冷気流)

室内で暖まった空気が、窓面で冷やされると下向きの冷たい空気の流れがうまれます。これをダウンドラフトといいます。すきま風がない機密のよい住まいでも、窓の断熱性能がよくなないとダウンドラフトがおり、寒さを感じてしまうことがあります。



家庭内の事故を防ごう

①下のイラストの場面での事故を防ぐには、どのようなことに注意をすればよいか考えてみよう。



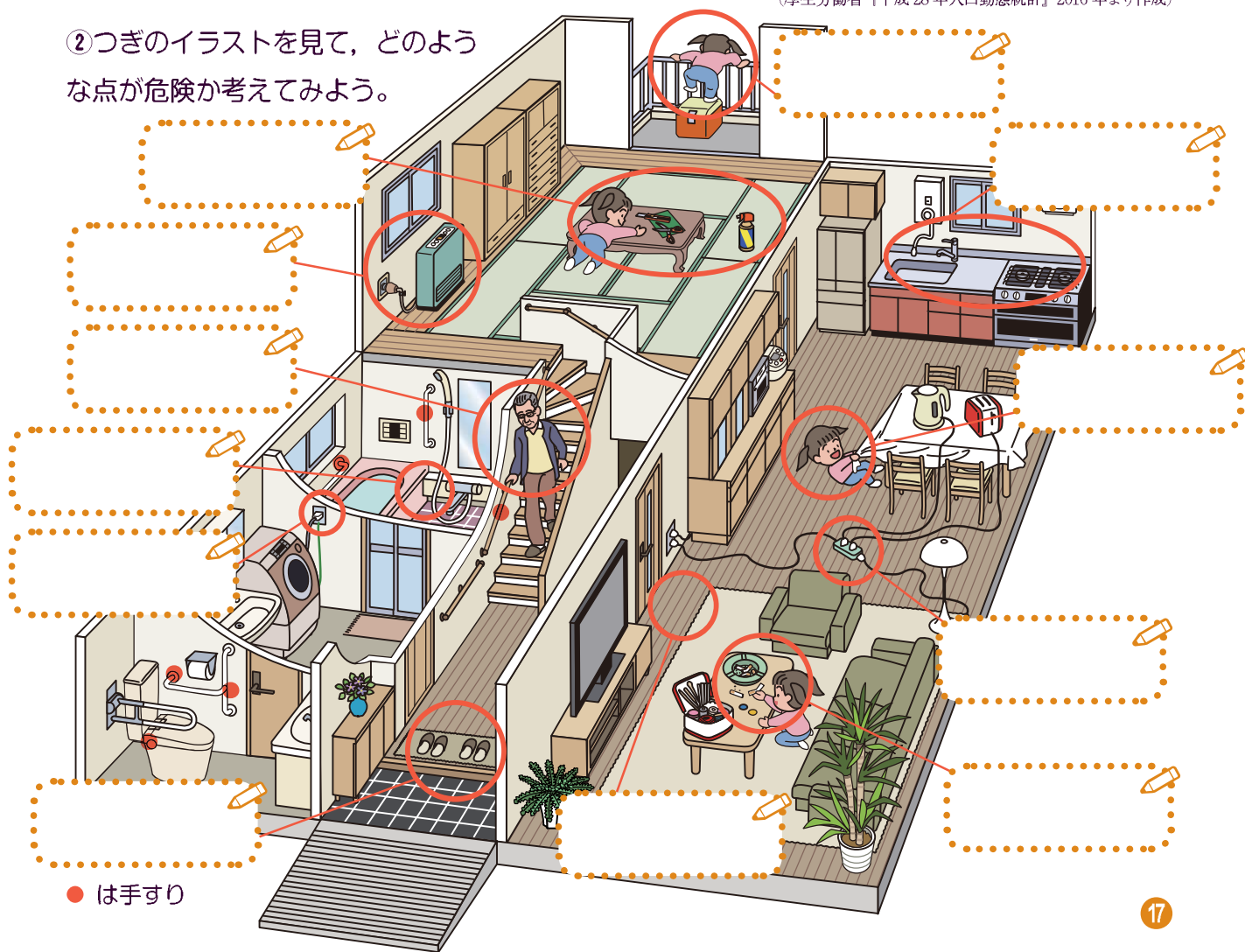
家庭内事故死の主な原因

イラストは青森市立新城中学校 嘉瀬夏輝さんの作品

原因	0歳		1～4歳		5～9歳		10～14歳		15～29歳		30～44歳		45～64歳		65～79歳		80歳～	
	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合
転倒・転落	-	-	6	13.3%	1	7.1%	5	25%	33	21.3%	52	16.9%	289	20.4%	834	17.9%	1528	20.4%
でき死	3	5%	18	40%	3	21.4%	9	45%	41	26.5%	36	11.7%	295	20.8%	2075	44.4%	3011	40.3%
窒息	57	95%	16	35.6%	4	28.6%	4	20%	22	14.2%	67	21.8%	373	26.4%	1094	23.4%	2180	29.2%
その他	-	-	5	11.1%	6	42.9%	2	10%	59	38%	153	49.6%	458	32.4%	667	14.3%	757	10.1%
計	60	100%	45	100%	14	100%	20	100%	155	100%	308	100%	1415	100%	4670	100%	7476	100%

(厚生労働省「平成28年人口動態統計」2016年より作成)

②つぎのイラストを見て、どのような点が危険か考えてみよう。




4 安全を考えた住まい方 ねらい★自然災害への住まいの対策も含めて、家族の安全を考えた住空間の整え方について、工夫できることをまとめてみよう。

安全な住空間にしよう

寝室にはものを置かない

- 就寝中に地震がおそうこともある。
- 家具の下じきになる恐れがあるので、寝室に大型家具は置かない。




家具類の転倒防止対策を

- タンス、食器棚などの家具、テレビなどの家電やピアノは、転倒防止のマットや固定用の金具などで固定しよう。




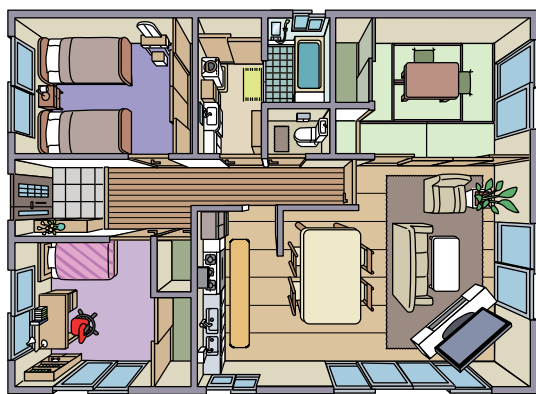
照明器具にも注意しよう

- シャンデリア状やスタンド型の照明器具は、落下や転倒の恐れがあるので注意しよう。
- 天井にピッタリと固定するタイプのカバー付き照明が危険が少ない。



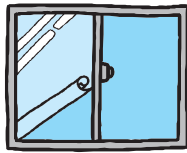
常に整理整頓を心がける

- ドア近くに大型家具を置かない。
- 廊下、階段、玄関に大きな荷物を置かない。
- 避難経路を確保するために、整理整頓をする。

窓ガラスの飛散防止を

- 地震でのケガは散乱したガラスでのケガが最も多い。
- 飛散防止のフィルムを貼り、破片が散乱しないようにする。




住まいの外回りをチェックする

- ブロック塀の倒壊の危険はないか。
- アンテナ、雨どい、エアコンの室外機や植木鉢の落下の恐れはないか。
- 壁や屋根にひび割れや傷みはないか。

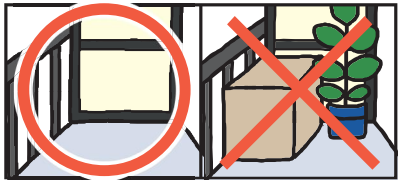
家にいて地震が起きたら

- 身の安全の確保のために、頭を守り、揺れがおさまるのを待とう。
- 火は揺れが収まってから消そう。●窓や扉を開け、出口を確保しよう。
- 電気のブレーカーを切り、ガスの元栓をしめよう。
- 不在の家族へのメッセージも残しておくとうい。

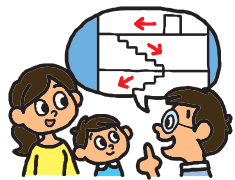


安全な住空間にするためにできる工夫は

集合住宅の場合




集合住宅ではベランダが重要な避難経路になることがある。非常の際には隣家とのしきりを破り、ベランダを伝って避難することもあるので、ふだんから整頓を心がけよう。



地上に出るまでの避難経路を家族で確認し合っておこう。



非常時にはたくさんの方が一度に避難するので、常に片づけておこう。



地震で避難するときには、エレベーターは使用できない。たとえ動かせる状態になっていても、絶対に使ってはいけない。

地震に備えよう

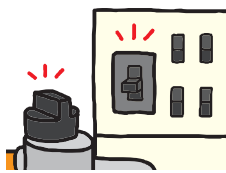
チェックしよう!

住まいの防災対策

- 家具の転倒防止処置を万全にしている。
- ガラスの飛散防止処置をしている。
- 玄関や階段、廊下などはすっきり片づいている。
- 照明器具は落下防止処置をしている。
- 寝室にはものを置かないようにしている。
- 家屋の耐震診断の結果大丈夫だった。
- 家の傷んでいる箇所の補修はすませた。

火災への備え

- 家族全員が消火器の使用に習熟している。
- 台所など火元がある場所が整理整頓されている。
- 小さな地震でも火を消す習慣がある。
- 状況に応じた消火方法を知っている。
- 避難するときはガスの元栓をしめ、電気のブレーカーを切ることを知っている。



家族の防災計画

- 家族の防災会議を開いている。
- 家族の間で非常時の連絡先や連絡方法がわかる。
- 震災時の避難場所と避難経路を家族全員が知っている。
- 家族全員の血液型や健康状態などを把握している。
- 地域の防災活動には積極的に参加している。
- 非常時のペットへの対応を話し合っている。
- 非常持ち出し袋の中身がそろっている。
- 備蓄用食料や避難生活用品の準備ができている。
- 地震保険への加入や貴重品の管理など、資産へのケアをしている。

災害用伝言ダイヤル171

大地震のほか、台風や集中豪雨などの大きな災害時には「災害用伝言ダイヤル」が開設され、電話が通じにくい場合も、家族などとの連絡用に使えるようになっている。171にダイヤルして、あとは音声案内通りに操作すればよい。くわしい使い方は、電話会社のホームページを見てみよう。

家族の防災会議を開こう

ふだんから、災害時にどうするかを話し合っておこう。

●連絡先の確認

電話番号は

●避難場所の確認

地域の避難場所

場所の名称・住所などをメモしておきましょう

●非常時の役割分担 など

防災グッズの使い方や避難場所について話し合っておこう。



準備しよう!

チェックしよう!

非常持ち出し袋

- リュック
- 救急キット
- 懐中電灯
- 乾電池
- 携帯ラジオ
- 軍手・厚手のくつ下
- 身分証明書やIDカード
- 使い捨てカイロ
- 予備のメガネ
- 生理用品
- ポリ袋（大きさ各種）
- 家のスペアキー
- 携帯食料・飲料水
- 筆記用具（手帳・ペン）
- ティッシュなど
- 雨ガッパ
- 防災ずきん
- 防煙マスク
- 現金
- すく持ち出せる貴重品
- 新聞紙など

備蓄用食料（道具も）

- 米
- 乾パン
- 缶づめ
- 調味料
- 乾燥食品
- 菓子類
- レトルト食品
- インスタント食品
- 卓上用ガスコンロ
- 調理用器具

特に枕元に置きたいもの

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 適切な金額の現金
- 防災ずきん（ヘルメット）
- 厚手のスリッパ（スニーカー）



防災チェックをして、気づいたこと

防災ハンドブック「あおりおもり手帳」（2018年9月～全世界配布）も参考にしよう。

青森県

住まい・ 住まい方読本

～生活する力を身につけよう～

発行

青森県県土整備部建築住宅課
〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL:017-722-1111

写真協力

一般社団法人青森県優良住宅協会
沖縄観光コンベンションビューロー
特定非営利活動法人コレクティブハウジング社

制作協力

株式会社全教図

学校 年 組